

情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	中学校 3年
領 域	教科指導 (技術科)
指導項目	情報に関する技術

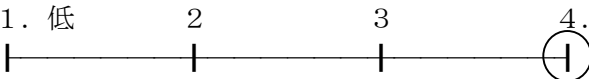
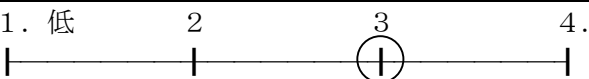
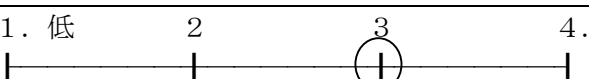
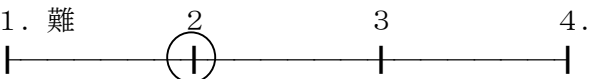
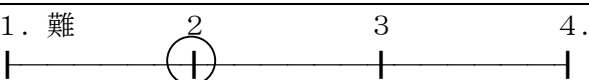
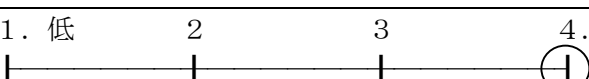
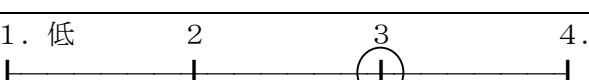
情報モラル指導モデルカリキュラム http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html			
指 導 分 野	情報社会の倫理		
コ ー ド	b 4-2	指 導 事 項	著作権などの知的財産権を尊重する

授業前の生徒の状況	生徒は日頃からインターネット、携帯電話、スマートフォンなどを用いたコミュニケーションを行っている。また、自分の身近な話題を不特定の人が閲覧するブログや電子掲示板に書き込むことが増え、それに伴う問題を抱えやすくなっている。特に著作権に関する理解は不十分である。
期待される生徒の変容 (ねらい)	著作権に関する知識を身に付け、情報を活用する際に、法律を遵守し、著作者の権利を尊重した適切な判断ができる。
生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント)	生徒たちの身近な話題を取り上げ、問題解決的な学習や実践的・体験的な学習を取り入れる。特に、他の生徒の意見を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめることができるように、電子掲示板を用いて授業を展開していく。
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教材 ネット社会の歩き方 (45. 著作権の尊重) http://www.cec.or.jp/net-walk/ ・「キューブ NEXT 3」の電子掲示板 (スズキ教育ソフト)

生徒の感想

- ・知ってるようで知らないことが多かった。
- ・CDのコピーにも複雑なルールがあることを知った。
- ・相手の気持ちを考えて行動することが大切だなと思った。
- ・スマホでLINEとかyoutubeを使うことが多いから気を付けようと思った。
- ・ネット上に画像とか動画を載せることがあるから、すごく怖いなと思った。

評価 (指導者による授業への評価)

生徒について	生徒の 興味・関心の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ・実際にあり得る場面を設定したことで、考えやすいのではないかと感じた。
	生徒の理解度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ・著作権には細かな決まりがあるため、どの程度まで指導すべきか事前に十分に検討する必要があると思う。
	生徒の 変容の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ・生徒の多くは日頃から動画サイトを閲覧しており、「動画投稿に気を付けようと思った」という感想が多かった。
授業について	事前準備の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 ・パワーポイントや電子掲示板を使うための準備を行ったため、授業の初めに少し時間がかかった。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 ・著作権をどこまで生徒が知っているかによって展開は変わる可能性があると感じた。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ・著作権について細かな約束はまだまだあるが、ネット上の著作権に気を付けようと思ったという感想をもつ生徒が多かった。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ・身近な例を取り上げたこと、そして、生徒相互の意見を見ることができるよう電子掲示板を利用したことが、効果的であったと感じた。

<実践の感想及び反省点等>

生徒が自ら考えるように、グループの話し合い活動を取り入れることを意識した。しかし、著作権に関する説明が必要で、担当者が一方的に話す時間が多かったことが反省点である。また、担当者が事前に、著作権について判断ができるように十分な知識を身に付けることが必要であると感じた。「情報モラル教材 ネット社会の歩き方」は実践しやすい内容が多いため、他の分野も実践できると感じた。

実践例

配当時間		学習の進め方	指導のポイント
導 入	5 分	<p>1 日常生活におけるマナー・モラルについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車内で飲食をすることはよいか。 ・給食を準備してもらうときに好きなメニューの量を自分のものだけ多くしてもらうことはよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活におけるマナーやモラルを考えさせることで、情報伝達のマナー・モラルを考えさせるきっかけづくりをさせる。 ・良いか悪いかだけでなく、その理由についても考えさせる。
展 開	3 5 分	<p>2 情報モラルについて考える。</p> <p>(1) 「著作権」に関わる事例（動画投稿に関わる事例）について考え、意見を電子掲示板に記入する。</p> <p>(2) 他の生徒の意見を見てグループで話し合い、自分の考えをまとめる。</p> <p>(3) グループの意見を発表する。</p> <p>3 著作権について理解する。</p> <p>(1) 著作権について知る。</p> <p>(2) 著作権の例外規定（私的複製・引用・無償の上演等）について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報モラル」の定義について説明する。 ・生徒のディスプレイに事例を映し、事例について良いか悪いか、またその理由を電子掲示板に記入させる。 ・他の生徒の意見や他のグループの意見を参考に、自分の意見を再検討させる。
ま と め	1 0 分	<p>4 事例を著作権の観点から考察する。</p> <p>(1) 今回の事例の問題点と対処法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作物はルールを守って使用する。 ・作成者に許可を得る。 ・ウェブページに掲載しない。 ・自分で楽しめばよかった。 ・自分のオリジナルの漫画にすればよかった。 <p>(2) 情報通信ネットワークを利用するときには何が大切であるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権を考える。 ・ルールを守る。 ・相手のことを考える。 ・正しい知識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のディスプレイに事例の内容を映し、思い出しながら考えさせる。 ・日常生活と合わせて考えさせることで、著作権を意識しながらネットワークを利用することの大切さを伝える。 ・著作権以外の肖像権など情報通信ネットワークにおけるマナーやモラルについても紹介する。